



蓄光セラミックス「セラチックウ」

明るいときに光を蓄え、暗間になると発光する。自然光、蛍光灯を光源とする。避難誘導標識として、道路、公共施設の床材に採用される。国土交通省のNETIS(新技術情報提供システム)にも登録され、今後の全国展開に弾みがつくものと期待される。

業況等の動向について

本業の動向について

セラミックスでできた紋章「ダイヤスタイト」を製造販売する。紋章、校章、家紋、寺紋、銘板プレート。採用一例は、警察、消防の紋章。

業況は不調。国、地方自治体が主たる顧客。公共工事の減少により、状況は厳しい。

参入事業の概要

蓄光セラミックス部材「セラチックウ」「セラチックウ点字鋏」。自然の光や蛍光灯の光を吸収し、蓄える。夜間や暗所で発光する。避難誘導の標識として、歩道や公共施設の床に施工される。主に福井県内での採用が進む。今後、全国展開をしていきたい。

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

親類でトンネル関係の仕事をしている人がいる。その人から、トンネル内の蛍光灯の数を減らしたいという相談を受け、蓄光セラミックスの開発に取りかかった。

マーケティングについて

特にマーケティングはしていない。以前は展示会「サイン・ディスプレイショー」に出展していた。が、現在は、自治体・大手設計事務所、ゼネコンへ直接アプローチしている。

参入に際しての投資について

販売経費、蓄光顔料の購入費用。

参入して最も成果のあったこと

成果のあったことは、樹脂の蓄光材を開発したこと。2008年から、日本原子力発電からの委託研究で開発した。蓄光部材の、ラインナップが増える。セラミックス、樹脂の蓄光材として他業種とコラボしていきたい。

参入して最も困難だったこと

困難なことは、民間施設への営業である。民間施設へ採用してもらおうべく、アプローチしているが、実績があがらない。蓄光セラミックス「セラチックウ」は、暗所で役立つ、「もしも」の備えである。民間施設ではどうしても後回しになってしまうが、東北大震災を経て、人々の安心、安全の意識が高ま

ったこともあり、避難誘導標識として、今後の需要拡大が期待される。公共工事の減少もあり、民間施設へ食い込んで、売上を確保していきたい。

参入に際して活用した自社技術、ノウハウについて

特許公開番号 2000-319832 セラミックス蓄光部材及び蓄光部材を備えた鋏

今後の展望・見通し

全国規模の拡大を目指す。国土交通省のNETIS(新技術情報提供システム)にも登録され、今後の展開に弾みがつくものと期待している。

メリット・デメリット

メリットは公共工事の依存度を下げることができる。建築以外へ参入することができる。デメリットは特になし。

異業種参入時のアドバイス

とにかく一歩踏み出すことが大事と考える。

行政の支援について

異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度

福井県工業技術センターとの共同開発、日本原子力発電の委託研究。

異業種参入に際し、行政に対して望む支援

超えられない壁、縛りを感じることもある。例えば、産官学の連携で言えば、学への情報アクセスに不便を感じることもある。

会社概要

設立:1976年4月(昭和51年)

資本金:1,500万円

従業員数:12名

URL:<http://www.hirobe-kouki.co.jp>